

CITY OF YOKOHAMA

横浜の「食」がもっと新鮮に、もっと豊かに

中央卸売市場青果部の全面供用開始

2026年3月12日
市長定例記者会見



横浜市

中央卸売市場本場について

横浜市民の「食」を支えるための拠点

開設	昭和6年2月11日
所在地	神奈川県山内町1番地
敷地面積	115,870m ²
取扱品目	青果物（野菜・果物）・水産物
従業者数	2,144人

令和7年4月1日時点



集荷された野菜・果物



早朝の野菜のセリ

青果部再編整備について

- 令和8年4月1日から全面供用開始
- 既存施設（平成4年竣工）の周辺に3棟を増築し、冷蔵保管庫や屋内荷捌場等を整備
- 事業期間8年間（設計2年・建設6年）



【F3棟】
低温庫・冷蔵庫・
屋内荷捌場・屋上駐車場

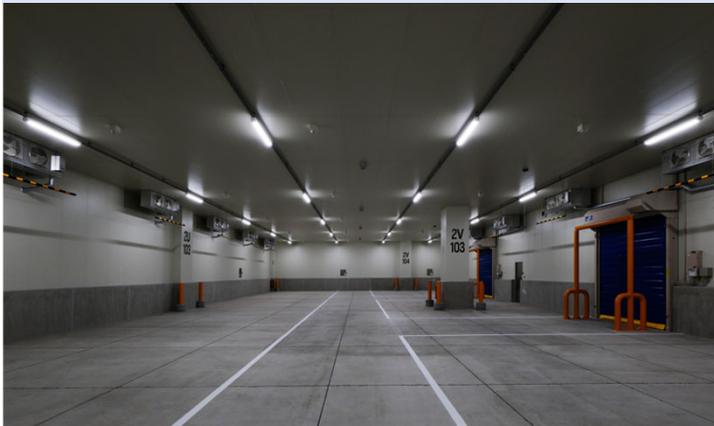
【F2棟】
低温庫・屋内荷捌場・
屋内積込所・防災センター

【F1棟】
低温庫・屋内荷捌場・
仕分作業室・事務所

青果部再編整備について

1 冷蔵機能を強化し、さらにおいしく新鮮に

冷蔵保管庫（低温庫・冷蔵庫） 面積：3,133㎡→6,732㎡【2.1倍】



【低温庫(10℃以上)の増築】
→産地からの鮮度を維持



【冷蔵庫(10℃未満)の増築】
→より低温の保管需要にも対応可能

産地から消費者まで温度管理が一定に保たれ、鮮度が維持されることで、より良い品質で商品を市民の皆様へ供給可能に

青果部再編整備について

2 物流機能を強化し、豊富な食材を必要な時に

屋内荷捌場 面積：12,405m²→20,017m²【1.6倍】



【屋内荷捌場の増築】

天候に左右されずに荷捌が可能



【既存施設との一体化】

相互にトラックで乗り入れ可能

天候に左右されずに荷捌ができるスペースが増え、順番を待つトラックの待機時間が削減され、食材をタイムリーにお届け

親子で市場の裏側に潜入「市場探検ツアー🔍」開催

市場をより身近に感じていただくため、青果部では初めて、普段、一般の方が入ることができない青果部を巡る限定ツアーを開催。

本日から募集開始！

【日 程】 5月16日（土）（全3回、各60分）

【募集人数】 120名

【対 象】 小学3年生以上の児童と保護者

【費 用】 無料

【内 容】 青果棟見学、模擬セリ体験、
ターレ・フォークリフトの
乗車体験、果物の食べ比べ 等

【参加申込】 横浜市電子申請システムから



【模擬セリ体験（イメージ）】
セリや目利きのポイントを伝授

市民向け市場イベント等の取組

横浜市場まつり



水産棟の一般開放



市場食育出前授業



料理教室





**新鮮で多彩な食材を
安心して味わっていただける機会を増やし、
市民の皆様の食生活を豊かにしていきます**